

令和 7 年 3 月 27 日
世田谷区立桜木中学校
校 長 石井 達也

令和 6 年度学校関係者評価委員会報告を受けて次年度に向けた改善方策

1 「重点目標」「指導の重点」の周知と説明の必要性について

テーマを「自立への準備」として分かりやすい言葉で掲げ、年度末の保護者会で校長から紹介した。

新年度の保護者会ではスライドを用いて説明し、視覚に訴えるとともに学校グランドデザインを配布し学校の進む方向性を説明する。また、重点目標を「生徒の成長にかかること」「教職員の成長にかかること」の 2 点に絞り、そこに基づいた指導の重点を「具体的な取組」として各分掌主任から説明し、年度当初の周知を図る。

また、1 学期末の保護者会で進捗状況を説明し、2 学期の教育活動を「重点目標」「具体的な取組」に関連して丁寧に説明していく。

2 キャリアパスポートの周知について

キャリアパスポートの活用について生徒・保護者に十分な認識が得られていないことから、新年度の保護者会で校長・進路指導主任から活用についての説明をする。

校内体制として学校統一様式を活用した記入を生徒に徹底させ、各行事や学習活動において振り返りによる成長の確認を丁寧に指導する。

また、キャリアパスポートは中学校で保管して使用するため、保護者が閲覧する機会が少ないと解消するため、三者面談での活用を進めていく。

3 学校図書館の利用について

学校図書館の本を利用・活用している肯定的評価が上昇しているものの、コロナ禍前の状況には達していない。生徒一人 1 台のタブレット端末が配布されてからの図書館利用については同じ尺度で比較することはできない状況である。しかしながら、全国的な中学生的読書離れの状況もあり、本校として以下の取組を進めていく。

1 年度初めの学校図書館の利用についてのガイダンス

図書館司書によるガイダンスで、利用のルールを周知し、生徒にとって落ち着ける居場所としての図書室の運営を進める。

2 全校の朝読書の実施

登校後に静寂した読書時間を確保することで、落ち着いた 1 日の始まりとともに、読書の習慣を身に付けさせる。

3 ビブリオバトル

国語科の授業で実施し、図書に触れる機会を増やし、図書館を身近な存在にする。

4 総括

アンケート結果から多くの肯定的なご意見をいただき、教職員の努力が評価されたことに感謝いたします。これに甘んじることなく、学校教育目標達成の先にある立への準備」を支援し、生徒の成長により一層寄り添うことを進めていく所存である。